

日本平山頂シンボル施設建築工事設計業務公募型プロポーザル
審査講評

平成 28 年 3 月

日本平山頂シンボル施設建築工事設計業務
公募型プロポーザル審査委員会

委員長 遠山敦子

日本平は、世界遺産富士山をはじめ、360度の優れた眺望が可能な日本を代表する景勝地であり、日本の国土の象徴である富士山の美しい姿を仰ぎ見ることができる最高の「場」である。

今後、東京オリンピック・パラリンピックやラグビーワールドカップの開催により、静岡県を訪れる外国人の増加も見込まれるところであるが、現在の日本平山頂部は、簡素な展望台があるものの、増加する来訪者へのサービスの提供が不十分である。

今回の建築工事設計業務公募型プロポーザルは、一級建築士事務所登録を有することを参加条件として、過去の実績を問わない形で門戸を広くするとともに、静岡県と静岡市の施設を一体的に設計することで、日本平の価値を高める魅力的な施設の提案を募集した。

また、工事費が予算を超える事例が見受けられる中、提案にコスト管理に対する考え方などを求めることとし、コスト管理に対して重きを置いた募集であった。

その結果、全国から73者に上る参加表明がなされ、そのうち46者から提案書の提出があった。静岡県及び静岡市の関係者による県・市検討会において、それらの提案について審議し、審査対象者を6者選定した。

審査では、公開によるプレゼンテーション及びヒアリングを行い、その後、引き続き行われた審査委員会において、最優秀者1者、優秀者2者を特定した。

最優秀者に特定された受付番号38番：株式会社隈研吾建築都市設計事務所の提案は、日本の造形として八角形を取り入れた意匠に独自性があり、構造との合理性が良い。シンボル性を感じられる提案であり、基本構想の内容をよく理解し、それを具体化している点を高く評価した。

優秀者に特定された受付番号46番：株式会社土屋辰之助アトリエの提案は、富士山にちなんだそのある和傘のスタイルが印象的な提案であり、和庭と併せて、シンボル性が表

現されている点を評価した。

優秀者に特定された受付番号 53 番：MAMM&NEY 共同企業体の提案は、新しいデザインの息吹を感じさせる提案であり、日本平という雄大なランドスケープに対峙する適切なスケール感を評価した。

審査に残った 6 者の提案はいずれもよく練られた提案で、日本平への思いが強く感じられた。最優秀者には静岡県や静岡市と連携を図り、日本平に相応しく、世界に誇れる施設的设计を進めていただきたい。

最後に、本プロポーザルに参加いただいた皆様には、提案書の作成等に多大な労力を注いでいただいたことに、心より感謝申し上げます。